

## 19 埼玉県／田中 匡之(38歳)

『天国の母へ』

そっちはどう？元気？

こっちは父ちゃんも宏治も俺も元気だよ。

聞いてよ母ちゃん！あの父ちゃんが毎日掃除しているよ！

聞いてよ母ちゃん！俺が家に行くはずっと母ちゃんの話をしているよ！

「母さん、これが好きだったな」

「部屋汚くしたら母さん怒るからな」

「この時計はまだ付き合っていた時にプレゼントしたやつなんだ」

「母さんは本当に気丈な人だった...」

本当に好きだったんだな母ちゃんのこと。

何で生きている時に労わってあげなかったんだよ、

と言いたくなるよ。

喧嘩ばかりしていたよね。何で死んでから言うんだよ。

後悔しているみたいだよ。もっと優しくすれば良かった。

もっと旅行に連れていきたかった...だって。

でももういないもんね。でも気持ち通じているでしょ。

肉体はないけど魂は不滅だもんね。

俺は母ちゃんに威張る父ちゃんが嫌いだった。

怒鳴ったり、暴言を吐く父ちゃんが大嫌いだった。

こんな男にならないと決めていたよ子供の時から。

俺は人に絶対威張らないと決めたんだ。

父ちゃんみたいな男にならないと決めた。

そしてまったく逆のことをやるようになったんだ。

でもね母ちゃん。今は父ちゃんが好きなんだ。

本当は母ちゃんを好きだったことが分かったから。

それを教えるために天国に旅立ったのかなと

今は思えて仕方がないよ。

これからも天国で見守っていてね。

家族仲良く、幸せに生きていくよ。

母ちゃん、俺を生んでくれてありがとう。